

特集

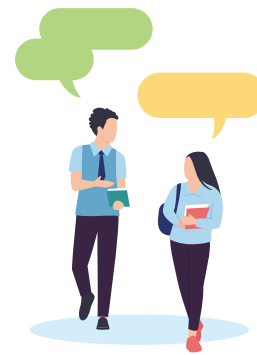
受け継ぐ、しまくとうば

「しまくとうばの日」20周年、大切な言葉の「いま」と「これから」

「しまくとうば」ってなんだろう、なぜ大切なのかな？

みなさんはこれまで、「しまくとうば」ということを耳や目にしたことがあるのではないだろうか。でも、「しまくとうば」が具体的にどのような言葉を他の方に説明するのは、少し難しいかもしれません。では、詳しくみていきましょう。

「しまくとうば」を、「しま」と「くとうば」に分けて考えてみます。『沖縄語辞典』によると「シマ」は「集落」や「故郷」の意味もあり、「クトゥバ」は「言葉」を表します。つまり「しまくとうば」は、「集落、故郷のしまくとうば」は、「集落、故郷の

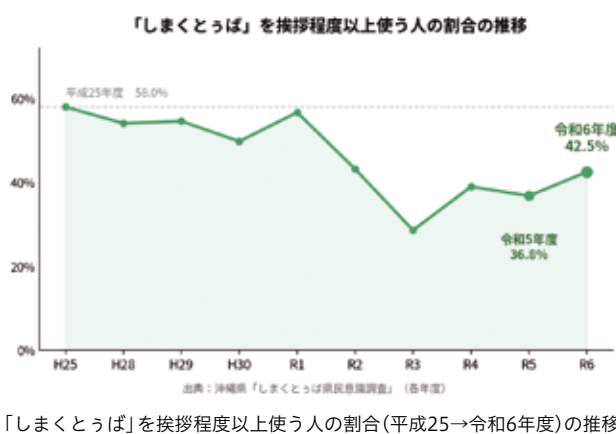


言葉」という意味になります。ここで注意してほしいのは、沖縄県内の各集落の言葉は、それぞれ異なるという点です。沖縄本島でも北部と中南部で違いがありますし、宮古、八重山、与那国、大東といった地域ごとの言葉同士では、意思疎通が難しいとも言われています。このため「しまくとうば」は、特定のどれか一つの言葉を指すのではなく、これら複数の言葉をひとまとめに呼ぶ「総称」なのです。まとめると、「しまくとうば」とは、「沖縄県内の各集落、故郷の言葉の総称」となります。

「しまくとうば」は「故郷の言葉」ですから、地域の気候や自然環境、人々の歩んできた歴史や知恵が、たくさん詰まっています。また、人々の心のよりどころにもなります。長旅から戻り、故郷の言葉を耳にしてホッとするような感覚です。加えて、島唄や琉球舞踊の歌詞も「しまくとうば」で語られます。「しまくとうば」なしで、沖縄らしさを表現できるでしょうか。「しまくとうば」は、地域の先輩方が積み上げてきた知恵であり、今を生きる私たちの心のよりどころ、そしてこれからの沖縄県を豊かにする源にもなり得る、とても大切な言葉です。

こうした県民にとって大切な言葉である「しまくとうば」を、これからも継承していくこと、沖縄県議会は平成18年3月、議員提案による「しまくとうばの日に関する条例」を可決しました。この条例では、9月18日を、「くとうば」(9月18日、10月18日)の語呂合わせから「しまくとうばの日」と定めています。今年

は、「しまくとうばの日」が制定されてから20周年の節目を迎えます。県はこれまで、平成29年度に沖縄県文化協会への委託事業として「しまくとうば普及センター」を立ち上げたほか、令和5年度には、県庁の組織として「しまくとうば普及推進室」を設置するなど、体制の強化を図ってきました。



「しまくとうば」を挨拶程度以上使う人の割合(平成25→令和6年度)の推移

意識調査からみえる、「しまくとうば」のいまの姿

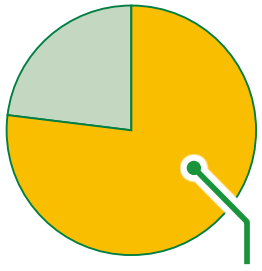
県が実施した令和6年度の「しまくとうば県民意識調査」からは、「しまくとうば」のいまの姿がみえてきます。

同調査において、「しまくとうばに親しみがある」と答えた人は77.1%、「よくわかる・ある程度わかる」と答えた人は67.9%と、いずれも高い水準を示しています。

では、実際の使用頻度はどうでしょうか。「挨拶程度以上使う」と答えた人は42.5%で、前年度(36.8%)から5.7ポイント増加しました。しかし、11年前の平成25年度の数値(58.0%)と比較すると、依然として低い水準にとどまっています。また、日常的に「主に使う」と答えた人は3.4%(平成25年度10.0%)にとどまっています。

一方で、出身地の「しまくとうばを将来にわたって残してほしい」と願う人は85.2%、子どもたちに「使えるようになってほしい」と願う人

令和6年度
しまくとうば県民意識調査



「しまくとうばに親しみがある」と答えた人は77.1%

あなたも、はじめの一步を踏み出しませんか

も78.2%にのぼり、しまくとうばを残したいという県民の思いは変わらず強いものがあります。

以上のような状況に対応するため、県は「しまくとうば普及推進計画」を策定し、「保存・普及・継承」の3本柱を軸に各種取組を進めています。そうした取組の中には、県民の皆さまが気軽に参加できる企画も数多くあります。

来る9月20日には、読谷村文化センター鳳ホールで、しまくとうば県民大会(U-18島唄者コンテストも同時開催を、年明けの1月31日には浦添市のてだこホールで、しまくとうば普及継承イベント(しまくとうば語やびら大会も同時開催)を開催します。いずれも入場無料です。

こうしたイベントとあわせて、日々の学びを支える仕組みづくりも進めています。県内にどのような「しまくとうば」があるかを気軽に知ることができる「しまくとうばアニメ(YouTube)」があるほか、時間や場所を選ばずに学べる「しまくとうばEラーニング」も対象地域を順次拡大中です。また、「しまくとうば

次世代に残そう、つなげよう!
ちちらくとうば、しまくとうば

第13回 しまくとうば県民大会

入場無料
9.20(土) 14:00~17:00(13:30開場)
読谷村文化センター・鳳ホール

第10回 U-18島唄者コンテスト本選

しまくとうばのステージと、心に響く島唄のコンテスト! ステージで競くのは、未来の島唄者を目標する18歳以下の若者たち。次世代を担う若者たちの熱い挑戦を、会場で見守りましょう!

さらに、読谷村文化センター・鳳ホールで、しまくとうばの普及推進室が主催する「しまくとうば普及推進室」を開催します。しまくとうばの普及推進室では、しまくとうばの普及推進室の活動や、しまくとうばの普及推進室の活動について、詳しく説明します。

お問い合わせ: しまくとうば普及推進室 TEL: 098-894-7882 FAX: 098-894-7122



令和6年 第11回しまくとうば県民大会の様子

問い合わせ 文化振興課しまくとうば普及推進室 電話: 098-894-7882

9月18日はしまくとうばの日
2026年は、しまくとうばの日が制定されて20周年!

9月18日はしまくとうばの日
2026年は、しまくとうばの日が制定されて20周年!